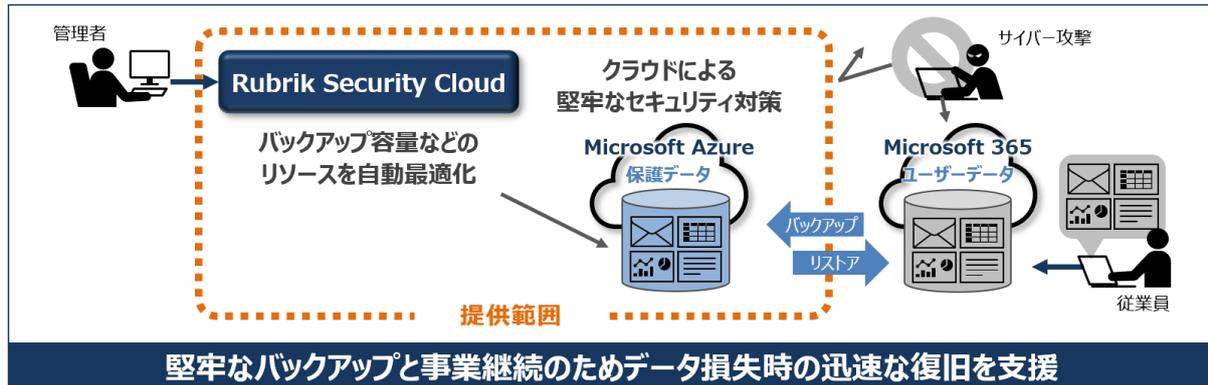


2024年2月2日

株式会社日立情報通信エンジニアリング

Microsoft 365 利用者向けデータ保護のソリューション販売開始

ランサムウェアなどのサイバー攻撃に備えクラウドセキュリティを強化、
貴重なデータ資産の堅牢なバックアップとデータ損失時の迅速な復旧を実現



堅牢なバックアップと事業継続のためデータ損失時の迅速な復旧を支援

Microsoft 365 利用者向けデータ保護のソリューション構成

株式会社日立情報通信エンジニアリング(以下、当社)は、クラウドにシステムを構築する企業が増え、それらを標的としたサイバー攻撃によるクラウド上でのデータ消失のリスクが増大している動向を踏まえ、クラウドセキュリティの強化を目的に Microsoft 365 利用者向けデータ保護のソリューションを2月2日から販売いたします。

本ソリューションでは、Microsoft Azure のストレージサービスを活用した Rubrik, Inc. (本社：米国カリフォルニア州パロアルト 以下、Rubrik) の Rubrik Security Cloud 製品により Microsoft 365 の不慮のデータ損失に対し復旧を可能とします。

サイバー攻撃やクラウドサービスの障害など、さまざまな予期せぬ事態が原因でデータを損失するリスクがある中、このような起こりえる事態に備え迅速なデータ復旧を実現することで、データ損失による企業における信用の失墜を防ぎ、業務の生産性低下を軽減します。

当社は、企業が取り組むセキュリティ対策の業務効率化や、データ損失時に事業を継続できるよう迅速な復旧を支援します。

■背景

近年、Microsoft 365 に代表される SaaS の業務活用が進んでいる一方、企業を狙うサイバー攻撃が巧妙化しています。攻撃対象が SaaS へ拡大し企業活動が停止するなど深刻な事態となり、甚大な被害が最大の脅威と化しています。こうした中、サイバーセキュリティ対策では、特定、防御、検知、対応に加えて、有事の際の復旧を含めた NIST*1 サイバーセキュリティフレームワークの考え方が普及しています。

当社は、企業ネットワーク分野における約 30 年の経験と、2,000 社以上へのセキュアなネットワーク構築実績、さらに約 20 年間にわたるデータ保護のソリューションの提供で培った経験と知見があります。

この経験や知見と、NIST サイバーセキュリティフレームワークの考え方に基づき、2020 年から、特定、防御、検知、対応の観点からセキュリティ関連のソリューション・サービスを販売、強化してきました。

このたび、データ復旧に主眼を置き、セキュリティ関連のラインアップに Rubrik の技術・製品を加え、データ保護のソリューションとして販売を開始します。

*1 NIST : National Institute of Standards and Technology

■Microsoft 365 利用者向けデータ保護のソリューションの特長

1. 経験、知見豊富な当社技術者によるサポートの提供

約 20 年間にわたるデータ保護のソリューションの提供で培った当社の知見と経験に加え、Rubrik 製品の一次代理店である東京エレクトロニクスデバイスの豊富な商材知識のシナジーを生かし、データ保護システムやバックアップシステムなどの構築や運用の経験における技術サポートを提供することで、お客さまのビジネス継続のための復旧までを支援し、安全で安心なサポートを行います。

2. SaaS 提供により、フレキシブルで高い利便性を実現

本ソリューションは、初期投資を抑えたスモールスタートを前提にしており、業務データ量の増加に伴って柔軟に拡張可能です。

- ・ユーザー数と必要な容量ベースの料金プランでサブスクリプションとして容易にご利用可能
- ・GUI 操作により 15 分程度のセットアップ時間で利用開始が可能
- ・Microsoft 365 のサブスクリプション*2 のみで、機器や装置は不要
- ・ストレージ容量、インスタンスなどの Microsoft Azure でのリソースを自動最適化
- ・データの重要度に応じて保管期間を設定可能

*2 グローバル管理（者）権限が必要

3. クラウドによる堅牢なセキュリティ対策と復旧の迅速化

- ・Microsoft のクラウド内部で閉じているため、基本的に保護対象のデータをクラウド外に出さずに、安全性を確保。また、ユーザー単位、グループ単位、サービス単位といった各レベルでの個別、一括などのポリシーにしたがって精緻に管理可能
- ・イミュータブルファイルシステム（書き換え不可）に格納し、書き換えリスクを排除
- ・アクセスの権限は多要素認証によって精緻に制御し、組織内外からの不正アクセスを排除
- ・数回のクリック操作でデータ復旧が可能

■今後の展開

当社は、ネットワークやデータに関連する機器、ソフトウェア・サービスを駆使したセキュリティ関連のソリューションを強化するためにマルチベンダでラインアップし、巧妙化するサイバー攻撃の標的となるリスクに備えお客様の IT インフラやデータ資産のセキュリティ対策を支援します。

【主な施策】

- ・Microsoft 365 データ以外の SaaS や仮想化基盤などへの、復旧対象の拡大
- ・保管データへの攻撃を想定した「ランサムウェア検知」と「脅威モニタリング」
- ・運用サービスによる、セキュリティインシデント管理、通知、監視の一元化

■Rubrik, Inc.

Director, Channels & Alliances, APAC Kamal Elkhaili 氏のエンドースメント

昨今のビジネス環境では、企業はデータの回復力、可観測性、リカバリの確保など、ビジネスの継続性を維持する必要があります。Rubrik は、マイクロソフトおよび日立情報通信エンジニアリングと提携することで、お客様のデータとビジネス環境の保護を支援します。

■東京エレクトロン デバイス株式会社

執行役員 CN BU/副 BUGM 経営戦略担当 上善 良直 氏のエンドースメント

日立情報通信エンジニアリング様とのパートナーシップにより、Microsoft 365 をご利用されるお客様向けにデータ保護ソリューションをご提案できますこと、大変嬉しく思います。当社は Rubrik 社のソリューションとともに、日立情報通信エンジニアリング様との連携による技術支援でお客様のデータ消失リスク対策・事業の継続に貢献できるよう尽力してまいります。

■関連ページ

Rubrik 製品 導入効果 Microsoft 365 環境におけるデータ保護

<https://www.hitachi-ite.co.jp/solution/platform/products/benefits/recovery/index.html>

■日立情報通信エンジニアリングについて

当社は、公共・企業、産業、ヘルスケア、自動車関連の分野において、ネットワーク機器や関連するソフトウェア・サービスを駆使したネットワーキングと、カスタマイズやローカライズへ最適化するエンジニアリングと要素技術を提供します。詳しくは、[日立情報通信エンジニアリング](#)のウェブサイトをご覧ください。

■商標に関する表示

記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■お問い合わせ先

株式会社日立情報通信エンジニアリング ネットワーキング事業部 ネットワーキング事業企画本部
〒220-6121 神奈川県横浜市西区みなとみらい 2 丁目 3 番 3 号 クイーンズタワーB 21 階
お問い合わせフォーム：<https://www.hitachi-ite.co.jp/inquiry/newsrelease.html>

■報道機関お問い合わせ先

株式会社日立情報通信エンジニアリング 経営戦略本部 ブランド・コミュニケーション部
〒220-6122 神奈川県横浜市西区みなとみらい 2 丁目 3 番 3 号 クイーンズタワーB 22 階
お問い合わせフォーム：<https://www.hitachi-ite.co.jp/inquiry/newsrelease.html>

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、
お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と
情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
